

令和6年度<実績>・令和7年度<予定> 食育関連事業の実施状況

資料3-1

基本目標 I いっしょに食べよう、育もう 子どもの食習慣 <子どもの健全育成>

★…資料3-2で紹介する事業

1 家庭における食育の推進

No.	取り組むべき施策	施策の内容	食育に関連する事業名等	事業の概要	令和6年度<実績> 実施時期・回数・人数等	令和7年度<予定> 実施時期・回数・人数等	R6R7特記事項	担当課・ 行動主体
①	望ましい食習慣 や知識の習得	乳幼児や小学生を持つ家庭に 対し、家庭教育手帳の配付・活 用を通じて、家族が食を楽しみ ながら望ましい食習慣や知識を 習得できるよう啓発活動を行 います。	おやこの食育教室	園児や小学生の子どもとその親を対象として、食育に関する講義 や郷土料理の料理講習会を実施	10月 1回 15人	1回		(財)日本食生活協 会 富山県食生活改善 連絡推進協議会 射水市食生活改善 推進協議会 市(保健センター)
			三世代ふれあいクッキ ングセミナー	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくり のための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施	8~12月 8回 319人	7回		
			栄養ボードと給食サン プルの展示	家庭における食への関心を深めるため、栄養ボードと様々な食材 を使った保育園給食を紹介。	通年 27園	通年 26園	R6新湊中部保育園閉園 のため1園減	
②	子どもの生活リス ムの向上	「早寝早起き朝ごはん」の実施 や学校・保育園等からの「給食 だより」や「保健だより」の配付 等を通じ、子どもの基本的な生 活習慣の定着に努めます。	早寝早起き朝ごはん 運動の実施	小・中学校の児童生徒の生活習慣の振り返りと改善を促すため、 各学校で実施	通年 各学期1回	通年 各学期1回		学校給食センター、 幼稚園、小・中 学校、市(学校教育 課) 保育園、市(子育て 支援課)
			「食育だより」「給食だ よりの配付	正しい食習慣に関する情報を保護者へ伝えるため、保育園や幼稚 園において「食育だより」や「給食だより」を配付	通年 12回(月1回発行)	通年 12回(月1回発行)		
			保健だよりの配付	乳幼児期の健康の留意点を保護者へ伝えるため、保育園や幼稚 園において「保健だより」「すこやかだより」を配布	通年 6回	通年 6回		
				小・中学校の児童生徒自身や各家庭における健康への関心を促 すため、各学校で配付	通年 毎月1回	通年 毎月1回		
③	2人以上で食事 を食べることの推 進	家族のだんらんの中で豊かな 人間性を育み、家族そろって食 事をするよう努めます。また周囲 のサポートにより2人以上で食 事をするのできる環境づくり を支援します。	「食育の日」の啓発	食生活改善推進員によって「毎月19日は食育の日」として家族揃っ て食事をするようチラシ入りティッシュを配布し啓発	7~ 12月 976人	8~ 12月 1000人		射水市食生活改善 推進協議会
			あったか家族応援プロ ジェクト	子育て井戸端会議において、発達段階に応じた子どもへのかかわ り方を学ぶ場や保護者同士のネットワークづくりの機会を提供する とともに、「あったか家族3つのポイント」の普及を行う。	4~11 月 20回、874人	5~3 月 11回、500人		市(生涯学習・ス ポーツ課) 家庭教育アドバイ ザー連絡協議会
				いみず親学びスクールにて、親子で体験し、体験したことを家庭に 持ち帰りおしゃべりすることで、家族同士のコミュニケーションの向 上を図る。	8~12月 5回、105人	8~12月 5回、110人		市(生涯学習・ス ポーツ課)
			子ども食堂	★ 子どもたちが生まれ育った環境に左右されず、健やかに育つことを 推進するため、地域住民やボランティア・NPO活動を行う組織・団体 等が、食事その他の生活環境が十分でない子どもを地域で支える 取組。	毎月 6回(4施設合計)	毎月 6回(4施設合計)	立上げ経費及び立上げ 初年度の運営費、並び に新たに実施する特色 ある取組に対して補助 金を交付。また、市の広 報やLINEにて、PRを 行っている。	子ども福祉課

④	家庭における手作り料理の推進	家庭料理で身に付いた味覚は、家庭への愛着やその人の情緒の形成にもつながることから、可能な限り手作りの料理を作るよう努めます。また、ケーブルテレビや動画配信等を活用し、家庭で実践できるよう支援します。	CATV番組「ぱくぱくクッキング」の放映	テーマに応じた栄養ミニ講座、簡単メニューを紹介する番組の作成及び放映	6・9・12・3月	4回 テーマ「朝ごはんを“すっきり”」	6・9・12・3月	4回 テーマ「おいしく歯っぴー」		市(保健センター)
			広報「いみず」にレシピ掲載	広報「いみず」に毎月『食生活改善推進員のおすすめレシピ』を掲載。	毎月	12回	毎月	12回		市(未来創造課、保健センター) 射水市食生活改善推進協議会
⑤	よく噛む習慣の定着	噛むことは、唾液の分泌により消化を助けることなど、医学上様々な効果が実証されていることから、子どもに対するよく噛む習慣を定着させます。	カミカミメニューの実施	献立に歯ごたえのあるメニューを週1～2回取り入れ、噛むことを指導。また、「食育だより」を通じてよく噛むことの効果を啓発	6月	6回	6月	6回		保育園、市(子育て支援課)
⑥	子どもの食事マナーの習得	子どもが、箸の持ち方や基本的な食事の作法を習得するほか、食事のあいさつなど食べ物に対する感謝の念の醸成に努めます。	学校給食通じた指導	給食時の学校放送や学級活動を通じたマナーの啓発 食べ物や給食に携わる方々への感謝を表現する活動	通年 3学期	随時 給食週間	通年 3学期	随時 給食週間		小・中学校、市(学校教育課)
			「食育だより」の配付	各保育園から配付する「食育だより」などを通じた、手洗いや望ましい食べ方、箸の持ち方など食事マナーの啓発	通年	望ましい食べ方 箸の持ち方 正しい姿勢で食べること	通年	望ましい食べ方 箸の持ち方 食べ物に対する感謝の気持ちについて		保育園、市(子育て支援課)

2 保育園、学校等における食育の推進

No.	取り組むべき施策	施策の内容	食育に関連する事業名等	事業の概要	令和6年度<実績> 実施時期・回数・人数等	令和7年度<予定> 実施時期・回数・人数等	R6R7特記事項	担当課・行動主体		
①	教育活動における食育の推進	給食の時間、特別活動や総合的な学習の時間等で、食に関する正しい知識を身につけます。また、望ましい食生活や食料の生産等に対する子どもの関心と理解を深めます。	食育講座、給食参観の実施	年間食育計画に基づき、栄養と食材に関する「食育講座」や保護者と一緒に給食を食べる「給食参観」などを実施	通年	21園	通年	20園	R6新湊中部保育園閉園のため1園減	保育園、市(子育て支援課)
			食事マナーの指導	給食時における手洗いの方法やあいさつ、配膳の仕方や箸の持ち方などを指導	通年	随時	通年	随時		
			栄養教諭、栄養職員による指導	食に関する年間指導計画に基づき、各教科や総合的な学習の時間などを利用して、旬の食材の紹介や望ましい食生活と食事マナーなどを指導	通年	年間各クラス2時間	通年	年間各クラス2時間		小・中学校、市(学校教育課)
②	食に関する体験活動の推進	農作業や稚魚等放流などの体験を通じ、生産者や地域の方と触れ合いながら、地域の食への理解を深める活動を推進し、食料の生産、流通及び消費の理解を深めます。 また、知識だけではなく、家庭や地域と連携し、実際の経験を通じて「食に関する知識の習得」「食を選択する力」「望ましい食習慣の定着」を身に付け、健全な食生活を実践することができるよう取り組みます。	保育園における家庭菜園体験	食に興味を持つきっかけづくりとして、園児が野菜の栽培や収穫、調理を体験	通年	随時	通年	随時		保育園、市(子育て支援課)
			小・中学校における農業体験	バケツ稲や田んぼでの田植えのほか、各学校の菜園などにおいて、地域の農業者等から指導を受けながら農作業を体験	春秋	5月田植え、苗植え 9・10月稲刈り、収穫	春秋	5月田植え、苗植え 9・10月稲刈り、収穫		幼稚園、小・中学校
			稚魚放流事業	育てる漁業や地域の食材への理解を深めてもらうため、園児・児童がアユやクロダイ等の稚魚放流を体験	中止		未定		保育園、小学校、市(農林水産課)	

③	保育園・学校等における食育の推進	<p>保育園・学校給食においては、安全で安心な給食の提供に努めるとともに、生産者団体等と連携し、地場産食材を積極的に取り入れ、豊かで魅力のある給食の実施を推進します。また、給食を通して「食」に関する知識を高め、良好な人間関係や感謝の心を育てる活動を推進します。</p>	<p>★ 学校給食を通じた指導</p> <p>栄養教諭や栄養職員が中心となり、学校給食センターから給食を受配する学校と自校で給食を調理する学校のそれぞれに対応した指導体制のもと、各学校の食に関する年間指導計画に基づき学校給食を通じた指導を実施</p>	通年	随時	通年	随時	幼稚園、小・中学校、学校給食センター、市(学校教育課)
			<p>豊かで魅力ある学校給食の運営</p> <p>学校長、給食主任や栄養教諭等で組織する学校給食研究会において、食材、献立の内容や学校給食のあり方等の調査・研究を行った。各学校では、それぞれの特色を生かし、工夫をしながら豊かで魅力のある給食を実施</p>	通年	随時	通年	随時	
			<p>「射水きときとの日」の実施</p> <p>保育園において毎月「射水きときとの日」を設定し、旬の地場産食材を給食に使用</p>	通年	27回	通年	27回	保育園、市(子育て支援課)
			<p>地場産食材利用の加工食品提供</p> <p>地元の食材を使ったりんご・にんじんゼリーや里芋コロッケ、かぼちゃコロッケなどを業者に製造依頼し給食に使用</p>	通年	36回	通年	36回	
			<p>6市連携地場産献立「呉西(ゴーセイ)な日!!」</p> <p>圏域内の農林水産物(以下、「地場産物」という。)を使った共通の献立を学校給食で提供し、共通の献立名は、分かりやすく親しみが持てるよう、とやま呉西圏域の「呉西」と特別感をだす「豪勢」をかけ、「呉西(ゴーセイ)な日!!」とする。 子供が口にするものに保護者は興味を持っており、学校給食に使用されることで、子供のみならず保護者も地場産物に興味を抱くようになり、現時点及び子供が成長した後の将来的な地場産物の消費拡大につながる事が期待される。</p>		11/25~29		11月下旬	とやま呉西圏域連携事業「呉西圏域ブランド育成事業」、市(農林水産課)

基本目標Ⅱ

みずから知ろう、実践しよう 食で健康生活 <健康に過ごす人生>

3 市民食育推進運動の展開

No.	取り組むべき施策	施策の内容	食育に関連する事業名等	事業の概要	令和6年度<実績> 実施時期・回数・人数等	令和7年度<予定> 実施時期・回数・人数等	R6R7特記事項	担当課・ 行動主体
①	「食育月間」及び「食育の日」における食育の推進	「食育の日」は、家族揃って夕食をとる日とし、各家庭において定着するよう取り組みます。市ホームページなどの各種広報媒体を利用し、「食育月間」や「食育の日」の情報を発信し、食育推進運動への理解を深めます。	「食育の日」の啓発【再掲:1-③】	食生活改善推進員によって「毎月19日は食育の日」として家族揃って食事をとるようチラシ入りティッシュを配布し啓発【再掲:1-③】	7~12月 976人	8~12月 1000人		射水市食生活改善推進協議会
			農業産業まつりの開催	市の農業・産業の持続的な発展を目的として、JAいみず野、射水商工会議所、射水市商工会からの出店のほか、ステージイベントなどを実施（射水市農業産業まつり実行委員会が実施）	11/9 1回	11/22 1回		農林水産業関係団体、食品関連事業者、市（農林水産課）
			「食育だより」の配付	各保育園から配付する「食育だより」「献立カレンダー」などを通じ「毎月19日は食育の日」を啓発	通年 12回（月1回発行）	通年 12回（月1回発行）		保育園、市（子育て支援課）
			ホームページの作成、公表	射水市ホームページで射水市食育推進計画の内容を周知	通年 随時	通年 随時		
			「いみず食育ひろば」の公開	射水市ホームページに「いみず食育ひろば」のページを開設し、市民が食育を楽しく身近に感じられる情報を発信	通年 随時更新	通年 随時更新		市（保健センター）
			広報誌による周知	食育に関する記事を掲載（「い・み・ず」の食育推進目標）	通年 年3回（6・8・11月）	通年 年3回（6・8・11月）		
②	各種団体との連携・協力体制の確立	情報の共有化等を通じて各種団体やボランティア等との連携・協力体制を構築し食育を推進します。	射水市食育推進会議の開催	食育の推進に関係が深い関係諸団体との連携を図り、射水市食育推進会議の開催を通じネットワークを構築	10月 1回 委員7名	7月 10月 2月 3回		市（保健センター）
			食生活改善推進協議会との連携	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催 役員会・理事会の開催	通年 伝達講習 24回299人 地域食育講習 39回 1231人 役員会・理事会 毎月	通年 伝達講習 24回 地域食育講習 32回 役員会・理事会 毎月		市（保健センター）
			アルピス大島店キッチンスタジオを活用した食育の推進	アルピス大島店のキッチンスタジオを活用し、食生活改善推進員等と連携しながら本市の旬の素材を活用した料理の普及や野菜中心の食生活への改善、減塩等について普及・啓発	10月 ニッスイが加わり「朝食パワーで元気モリモリ！朝ごはん教室」を開催 参加者20名	未定		市（保健センター）、アルピス
③	「日本型食生活」の実践	地場産食材を使用し、栄養バランスに優れた「日本型食生活」の普及・啓発を推進します。	元気とやまわくわくクッキング	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施	11~12月 3回 82人	2回 「とやま健幸応援クッキング」に名称変更	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会	
④	食事バランスガイドの普及	各種健康教室の開催やイベントにおける啓発活動を行い、「食事バランスガイド」を参考にした、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発を進めます。	栄養教室（食生活改善推進員養成講座）の開催	正しい食事バランスの理解を図る教材として食事バランスガイドを利用した食生活改善推進員の養成	5~2月 10回 延78人	5~2月 10回		市（保健センター）
			ヘルスポランティア養成講座の開催	ヘルスポランティア養成講座において、食事バランスガイドを参考に、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	1月 1回14人	1月 1回		
			もうすぐパパママ教室の開催	食事バランスガイドを活用し、子育て世代の食生活について普及・啓発	通年 12回 父120人 母122人	通年 11回		市（こども福祉課）
⑤	ボランティアなどの人材育成	地域において食育推進の中心となる食生活改善推進員などのボランティアを育成するため、講習会などを開催します。	栄養教室（食生活改善推進員養成講座）の開催【再掲:3-④】	生活習慣病の予防や健康づくりを広く地域に普及し、食生活を通して市民の健康の保持増進を図る、食生活改善推進員を養成するための栄養教室を開催	5~2月 10回 延78人	5~2月 10回		市（保健センター）

4 ライフステージに応じた健康増進につながる食育の推進

No.	取り組むべき施策	施策の内容	食育に関連する事業名等	事業の概要	令和6年度<実績> 実施時期・回数・人数等	令和7年度<予定> 実施時期・回数・人数等	R6R7特記事項	担当課・ 行動主体
①	妊産婦や乳幼児 に対する食育の 推進	乳幼児健康診査、家庭訪問及 び教室相談を実施し、妊産婦や 乳幼児等の発達段階に応じた 栄養指導の充実を図ります。ま た、むし歯予防教室を実施し、 歯磨きや咀嚼等々の指導を行 います。	3～4か月児健康診査	離乳食の進め方についての集団指導や栄養相談などの実施	通年 24回 491人	通年 24回		医療機関 市(こども福祉課)
			1歳6か月児健康診査	栄養相談や保健相談などの実施	通年 25回 259人	通年 24回		
			3歳6か月児健康診査	栄養相談や保健相談などの実施	通年 26回 186人	通年 26回		
			もうすぐパパママ教室 【再掲:3-④】	食事バランスガイドを活用し、子育て世代の食生活について普及・啓発	通年 12回 父120人 母122人	通年 11回		
			育児相談	乳幼児を対象とした栄養相談の実施	通年 12回 114人	通年 12回		
			離乳食実習 (もぐもぐ教室)	離乳食初期の乳児を持つ親を対象とした講義と、離乳食実習の実施	通年 12回 126人	通年 12回		
			多胎ピアサポート事業 (トゥインクルクラブ)	多胎児の乳幼児を持つ親を対象とした栄養相談・集団指導の実施	通年 3回 8人	通年 1回		
②	学童・思春期に 対する食育の推 進	毎日の学校給食や定期健康 診断等の機会を捉えて食育指 導を行います。また、小学生を 対象にすこやか検診・教室を実 施し、早期の生活習慣病予防を 図るとともに、小学校から中 学校への切れ目ない指導を行 います。	小児生活習慣病予防 検診の実施	小学校4年生の全員及び5・6年生のうち希望者を対象に、血液検査等を行い、結果に基づきすこやか教室で食生活等の健康指導を実施	9月～11月 健診 720人 教室 26人	9月～11月 健診 758人 教室 調整中		医療機関、市(学校教育課)
			おやこの食育教室 【再掲:1-①】	園児や小学生の子どもとその親を対象として、食育に関する講義や郷土料理の料理講習会を実施	10月 1回 15人	1回		(財)日本食生活協会、富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会市(保健センター)
			親子の料理教室の開 催	射水市男女共同参画推進委員会が市内在住・在勤の親子を対象とした親子で作る料理教室を実施	2月 1回 大人13人、子供23人	3月 1回		射水市男女共同参画推進委員会(市民活躍・文化課)

③	青・壮年期に対する食育の推進	<p>特定保健指導や各種健康教室の開催、健康相談等により、生活習慣病予防や重症化予防を推進します。</p> <p>また、子育て中の保護者や、働き盛り世代に対し、朝食摂取をはじめとした望ましい食習慣の普及啓発に努めます。</p>	<p>特定健康診査の実施</p> <p>40歳以上の被保険者を対象として、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームに着目した健康診査を実施</p>	6～9月	実施者 5,364人	6～9月	対象者 11,100人	医療機関、市(保険年金課)	
			<p>特定保健指導(動機付け支援・積極的支援)の実施</p> <p>特定健康診査の結果をもとに、リスクの高い該当者を対象として、専門スタッフによる生活習慣病改善に向けた個々のプログラムによる健康づくりのサポート</p>	10月～翌年9月	実施者 207人	10月～翌年9月	対象者 694人		
			<p>若年健診(35～39歳の健康診査)の実施</p> <p>若年者に受診の機会を提供し、早期の受診意識啓発を行うとともに、必要に応じ保健指導を実施し、生活習慣の改善及び健康意識の向上を図る</p>	8～9月	受診者 94人	8～9月	対象者 440人		
			<p>服薬コントロール不良者等訪問指導の実施</p> <p>特定健康診査の結果に基づく、血圧・血糖・脂質の服薬コントロール不良者、非肥満者(非メタボ)の受診勧奨者について、生活習慣の改善等の保健指導を行うことにより、被保険者の健康管理の徹底を図り、生活習慣病の重症化を予防</p>	通年	実施者 633人	通年	対象者 800人		
			<p>1歳6か月児健康診査時における朝食を食べない両親への栄養指導</p> <p>1歳6か月児検診のアンケートで朝食摂取状況が「毎日食べる」ではない保護者へ、栄養指導を実施</p>	通年	随時 195人	通年	随時		市(こども福祉課)
			<p>全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト</p> <p>若者世代、働き世代を対象に、食事のバランスや減塩・肥満予防等、世代別に生活習慣病予防について講義や調理実習を実施し、「自然に健康になれる食環境づくり」を推進</p>	12月	1回 12人	1回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会		
④	高齢期に対する食育の推進	<p>糖尿病や高血圧症等の生活習慣病の重症化予防と、低栄養・運動・口腔等のフレイル予防に取り組み、健康寿命の延伸を図ります。</p>	<p>地域包括支援センターへの委託事業</p> <p>高齢者を対象に、介護予防や地域のネットワークづくりを目的とした介護予防教室の実施(栄養士・歯科医師・歯科衛生士による講義や実技等含む)</p>	通年	26回/5コース 52名	通年	30回/6コース	地域包括支援センター、市(地域福祉課)	
			<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(個別的支援)</p> <p>★ 糖尿病等生活習慣病の未治療者や治療中断者に対し、受診勧奨を実施する。また低栄養の可能性の高い者や生活習慣病のコントロール不良等保健指導が必要な者に対し保健師等による訪問指導を実施する。</p>	通年	実施者251人(延350人)	通年	対象者 約350人	市(保険年金課、保健センター)	
			<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(通いの場等への積極的な関与)</p> <p>★ 通いの場(100歳体操・支え合い事業)等において、フレイル予防の健康教育を実施する。みんな元気教室では、フレイル度チェックや参加者全員へ個別相談を実施する。</p>	通年	100歳体操等:8カ所 みんな元気教室: 2回×9カ所	通年	100歳体操等:7カ所 みんな元気教室 2回×12カ所	市(保険年金課・地域福祉課)	
			<p>生涯骨太クッキング～ロコモチェックでロコモ予防～</p> <p>高齢者を対象に、乳製品を使用した調理実習を通してロコモティブシンドロームの予防活動の普及</p>	10月	1回 11人	1回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会		
			<p>全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト</p> <p>高齢世代を対象に、フレイル・認知症の予防について講義や調理実習を実施し、「自然に健康になれる食環境づくり」を推進</p>	9月	1回 10人	1回			

5 地域における食育の推進

No.	取り組むべき施策	施策の内容	食育に関連する事業名等	事業の概要	令和6年度<実績> 実施時期・回数・人数等	令和7年度<予定> 実施時期・回数・人数等	R6R7特記事項	担当課・ 行動主体	
①	ボランティア等による食育の推進	食生活改善推進員や富山県が認定する「とやま食の匠」などのボランティアが中心となり、親子料理教室や高齢者料理教室等を開催し、食を楽しみながら学ぶ機会を創出します。	「とやま食の匠」派遣制度の活用	富山県が実施している「とやま食の匠」派遣制度等の周知及び活用	通年 12個人、4団体	通年 12個人、4団体		市(農林水産課)	
			伝達講習会、地域食育講習会の開催【再掲:3-②】	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催【再掲:3-②】	通年 伝達講習 24回299人 地域食育講習 39回 1231人	通年 伝達講習 24回 地域食育講習 32回		射水市食生活改善推進協議会、市(保健センター)	
			減塩・野菜摂取アンケート調査	「減塩」と「野菜もう1皿」を重点テーマとして家庭訪問で塩分チェックとアンケート調査を行い、パンフレット等を活用して減塩・野菜摂取を普及啓発	6~12月 248人	250人			
②	地域振興会等における食育の推進	地域行事を通じて行われる、交流ふれあい農園などの世代を超えた各種の食育関連活動を推進します。	地域振興会行事等の開催(生涯学習推進事業)	多世代が交流する農業体験、親子料理教室、おやつ作りなどを実施(郷土料理、伝統的な食文化に関する活動は8-①に記載)	通年 56回、1,542人	通年 52回、1,580人		地域振興会、市(生涯学習スポーツ課)	
③	食に関する専門的な支援	栄養や生活習慣に関する知識の普及に努め、また、専門的な立場から、研修等を通じてボランティアの資質向上を支援します。	市政出前講座	食事と健康との関わりをテーマとした出前講座や健康講座の実施	通年 出前講座 2回21人 健康講座 4回77人	通年 随時		市(未来創造課、保健センター)	
			食生活改善推進員研修会	食生活改善推進員を対象に、生活習慣病予防や介護予防につながる知識と技術を習得するための研修会を開催	4~2月 11回 453人	4~2月 11回			
			健康教育	生活習慣改善の意識を高めることを目的として、生活習慣病予防や健康づくり、についての正しい知識を普及(高血糖・脂質教室・血圧教室)	11~12月 体験8教室 2回 35人	通年 随時			
			健康相談	家庭における健康管理に資することを目的として、心身の健康について必要な保健相談と栄養相談を個別に実施	通年 752人	通年 随時			市(保健センター)
			訪問指導	保健指導や栄養指導が必要と思われる人とその家族に対し、生活習慣病予防のための個別指導を訪問により実施	通年 68人	通年 随時			
			第2次射水市健康増進プランの普及啓発	第2次射水市健康増進プランの8つの行動目標のうち、栄養・食生活の目標である「1日5皿の野菜料理でいみずのACE(エース)をねえ！」について、野菜摂取の推進と望ましい食生活の普及啓発を実施	通年 2回 26人	通年 随時	R7から第3次健康増進プラン開始		
			子育て支援センター栄養講座	支援センター利用者を対象に、離乳食の進め方やおやつをテーマに知識の普及のミニ講義と個別栄養相談を実施	通年 12回	通年 12回		市(子育て支援課)	

6 食の選択力の向上及び安全性の確保

No.	取り組むべき施策	施策の内容	食育に関連する事業名等	事業の概要	令和6年度<実績> 実施時期・回数・人数等	令和7年度<予定> 実施時期・回数・人数等	R6R7特記事項	担当課・ 行動主体
①	食品に関する情報の発信	法的に義務付けられている食品の表示制度等の周知や食材の保存等に関する情報提供を行い、食品の栄養面や安全性を確保するための知識の普及・啓発を進めます。	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催	食生活改善推進員を養成する栄養教室において、食品の表示・規格等に関する講座を開催 講師:高岡厚生センター	1月 1回 8人	1月 1回		市(保健センター)、 高岡厚生センター
			食生活改善推進員再教育	食生活改善推進員対象の研修会において、食の安全等に関する講座を開催	7月 1回 78人	7月 1回		
			広報紙等による情報の提供	食中毒防止の情報など、国・県からの情報をもとに、市広報紙やホームページなどを通じた情報の提供	通年 随時	通年 随時		
②	食品に関する安全性の確保と相談体制の確立	食品に関する危機事案発生時における情報提供を徹底し、安全性に関する相談体制を確立します。	広報紙等による情報の提供	国・県からの情報を基に、市広報紙やホームページ等を通じて随時情報を提供する。(鳥獣・家畜等の法定伝染病、放射能と食品等に関する情報等を市ホームページにより提供)	通年 随時	通年 随時		市(生活安全課、農 林水産課)
			消費生活相談の実施	相談内容の専門性から、国、県などと連携した消費生活相談における食品に関する相談等の受付	通年 28件	通年 随時		市(生活安全課)
			国、県及び関係機関との連携	国、県及び関係機関との連携による「食の安全」を含めた様々な消費生活情報を共有	通年 随時	通年 随時		市(生活安全課)
			食品衛生協会との連携	飲食に起因する伝染病、食中毒その他の危害を防止し、安全な食品を消費者に提供するための射水食品衛生協会との連携	通年 随時	通年 随時		高岡厚生センター、 市(保健センター)
③	消費者への情報提供の推進	農林水産業者や食品関連業者は消費者に対し、シールの貼付等を通じ、法律等で義務化されている表示内容以外にも、食品や生産者等に関する情報の提供に努めます。	広報紙等による情報の提供	国・県からの情報をもとに、市広報紙やホームページ等を通じた情報の提供	通年 随時	通年 随時		市(農林水産課)
④	生産・流通管理の徹底	GAPやトレーサビリティの推進を通じ、農林水産業者や食品関連事業者等に対して食の安全性を重視した生産や流通管理を徹底します。	GAPやトレーサビリティ普及への取り組み	射水市農業技術者協議会と連携し、農産物の安全性の確保と産地の信頼性の向上を図るため、市内の農業経営体に対し、GAP(リスク管理措置の記録等)やトレーサビリティ(生産、加工、流通の各履歴情報が確認できる仕組み)を普及	通年 随時	通年 随時		射水市農業技術者 協議会、市(農林水 産課)
			産地情報の伝達	直売所等におけるトレーサビリティ法やJAS法(農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)に基づく産地情報の伝達	通年 随時	通年 随時		農林水産業関係団 体

基本目標Ⅲ

ずっと伝えよう、育てていこう 射水の恵みく地産地消を通じた地域の活性化

7 地場産品への愛着の形成

No.	取り組むべき施策	施策の内容	食育に関連する事業名等	事業の概要	令和6年度<実績> 実施時期・回数・人数等	令和7年度<予定> 実施時期・回数・人数等	R6R7特記事項	担当課・ 行動主体
①	地場産食材の積極的な使用の推進と消費の拡大	地場産食材の生産から販売までのネットワークを構築し、その消費を推進します。家庭や学校・保育園等をはじめ、職場の社員食堂や外食産業においても、地場産食材を使用した食事のメニューを取り入れるよう、地場産食材の積極的な使用を推進します。生産者と作り手との信頼関係が構築され、安全・安心な食材の提供が可能な直売所やインショップの設置を推進します。	園芸作物等特産振興	園芸特産物の集団化と共同販売体制の確立を推進するとともに、複合化による水田作経営を体質強化	通年 随時	通年 随時		農林水産業関係団体 市(農林水産課)
			直売所等のPR	県内の直売所、インショップ情報が掲載されたパンフレットを作成し、直売所等を対象とした県産品購入ポイントなどの各種イベントの実施(県事業)及び県と連携したPR 市内の農産物の直売所に関する情報など、市ホームページで地産地消に関する情報を提供	通年 随時	通年 随時		市(農林水産課)
			「射水きときとの日」の実施 【再掲:2-③】	保育園において毎月「射水きときとの日」を設定し、旬の地場産食材を給食に使用	通年 27回	通年 27回		保育園、市(子育て支援課)
			地場産食材利用の加工食品提供 【再掲:2-③】	地元の食材を使ったりんご・にんじんゼリーや里芋コロケ、かぼちゃコロケなどを業者に製造依頼し給食に使用	通年 36回	通年 36回		
			6市連携地場産献立「呉西(ゴーセイ)な日!!」 【再掲:2-③】	圏域内の農林水産物(以下、「地場産物」という。)を使った共通の献立を学校給食で提供し、共通の献立名は、分かりやすく親しみが持てるよう、とやま呉西圏域の「呉西」と特別感をだす「豪勢」をかけ、「呉西(ゴーセイ)な日!!」とする。 地場産物一つ一つの印象は大きなものではないが、6市において「呉西(ゴーセイ)な日!!」を提供することで一体感と特別感をだし、より大きな印象、波及効果をねらう。 ブランドの育成につながる土壌を育むとともに、圏域の消費の定着化を図りたい。	11/25~28	11月下旬		とやま呉西圏域連携事業「呉西圏域ブランド育成事業」、市(農林水産課)
			献立作成会 給食部会	栄養教諭、栄養職員で開催する献立作成会、調理員で組織する給食部会において、地場産食材を使用した献立などについて協議	通年 献立作成会6回 保育園17回	通年 献立作成会6回 保育園15回		市(学校給食センター)、保育園、市(子育て支援課)
			「富富富」学校給食提供事業	・県内の学校給食実施校(射水市は全小中学校) ・「富富富」の美味しさや魅力を児童生徒に伝える。 ・学校給食へのコシヒカリ提供を富富富に切り替える。射水市は射水市産の新米での提供。コシヒカリとの差額を県と県農業協同組合中央会が負担する。	令和6年4月から令和7年3月	令和7年4月から令和8年3月		富山県農林水産企画課 富山県農業協同組合中央会 市(学校教育課)

②	農林水産漁業者との交流の推進	生産者を学校等の給食へ招いたり、農山漁村における作業体験などを通じ、農林水産業者との交流を推進し、食や環境に対する理解を深めるよう努めます。	ふれあい農園の運営	農産物を栽培しながら食材に対する理解を深めるとともに、周辺農業者及び市民相互の交流を図る施設の運営	通年	58区画	通年	58区画	NPO法人下村スポーツクラブまいけ、市(農林水産課)
			稚魚放流事業【再掲:2-②】	漁業資源保全、養殖漁業や地域の食材への理解を深めてもらうため、園児・児童がアユやクロダイ等の稚魚放流を体験【再掲:2-②】		中止		未定	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
			カニ学校給食の実施	地元の特産品への理解を深めるため、ベニズワイガニを市内全小学校6年生の給食時に1杯まるごと提供し、豊かな食材への感謝とふるさとを大切に思う心を育む	10月から11月	各小学校		未定	市(学校教育課)
			チャレンジ農業体験	市内の小学5,6年生を対象に、農作物の定植から収穫、調理(加工)の体験を通じて、農業を身近に感じてもらうとともに、射水市農産物への理解を深める		①6/1 ②8/23 ③11/16		①5/25 ②8/6 ③9/27	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
			★射水市産「こまつな」親子による収穫体験	射水市でこまつなが生産されていることを広く知っていただくとともに、生育スピードが早くなる夏場などに、収穫が間に合わず規格外まで成長してしまい、破棄されてしまうこまつなを有効活用する取組など、親子で学ぶ	6/23	親子12組37名	5/25	親子10組30名	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
③	魅力的な地場産品による射水ブランドの育成	消費の促進につながる食材及び地場産食材を使用した食品の開発など、射水ブランドの育成を支援し、地場産食材の消費の促進へつなげます。	園芸産地スケールアップ事業	県の補助事業を活用し、生産拡大や経営の複合化による生産者数や産地の拡大を図るため、機械・施設の整備を支援	通年	白ねぎ等	通年	サツマイモ等	市(農林水産課)
			サクラマスPR事業	射水市の新ブランド確立と養殖漁業の振興を支援	6～3月	学校給食(6,10,12月実施) 各イベントへの出店	6～3月	学校給食(6,10,12月実施予定) 各イベントへの出店	射水市サクラマス市場化推進協議会、小中学校 市(農林水産課、学校教育課)
			射水ブランド商品開発支援	一次産品及び加工品の商品開発及び販路拡大の支援	6～3月	学校給食(6,10,12月実施) 各イベントへの出店	6～3月	学校給食(6,10,12月実施予定) 各イベントへの出店	市(農林水産課、観光まちづくり課)
			「いいとこ、いいもの、ギュギュッと！射水」ときときいみず大漁まつり	富山県アンテナショップ「日本橋とやま館」内の和食レストラン「富山はま作」の協力のもと、射水産の特選食材を使用したランチ・ディナーを期間・数量限定で提供し、「射水の上質な食」の魅力や「豊富な天然食材」を首都圏に向けてPR	1/24～1/30	日本橋とやま館でランチとディナー提供 ランチ提供:32食 ディナー提供:60食 市内事業者も日本橋とやま館内にし出店	未定	未定	市(観光まちづくり課)
④	射水の食材の情報発信	射水の食材に関する情報提供を行い、旬を知り、旬のものを食べることにつなげます。地産地消をより身近なものとするため、市のホームページやイベント等において情報を発信し、普及・啓発を進めます。	ホームページによる情報の提供	市ホームページの「新湊のさかな情報」などによる旬の食材に関する情報の提供	通年	随時	通年	随時	市(農林水産課)
			「食育だより」、「給食だより」の配付【再掲:1-②】	旬の食材に関する情報を伝えるため、保育園や幼稚園、小・中学校において「食育だより」や「給食だより」を配付	通年	12回(月1回発行)	通年	12回(月1回発行)	学校給食センター、保育園、幼稚園、小・中学校、市(子育て支援課、学校教育課)
			★海鮮マルシェ	地元の海鮮を使ったテイクアウトグルメの提供 射水ベイエリアの海鮮が買える店舗を紹介したチラシを配布	10月20日	メインターゲットを若年層や子育て世代とし、新湊の魚を知って、食べて、学ぶ場を提供 来場者:約2,000人	未定	未定	新湊カニかに海鮮白えびまつり実行委員会・市(観光まちづくり課)

8 食文化の伝承・創造

No.	取り組むべき施策	施策の内容	食育に関連する事業名等	事業の概要	令和6年度<実績> 実施時期・回数・人数等	令和7年度<予定> 実施時期・回数・人数等	R6R7特記事項	担当課・ 行動主体	
①	郷土料理や伝統的な食文化の伝承	地域に伝わる伝統料理や郷土料理等、地域の食文化について情報を発信します。 食生活改善推進員や、富山県が認定する「とやま食の匠」などのボランティアが中心となり、講習会の開催などを通じて、伝統料理や郷土料理を伝えます。 地域行事等において、高齢者等が講師役となって伝統料理等を伝承することで世代間交流を進め、地域の活性化を促進します。 家族が郷土料理に慣れ親しみ、親から子へも受け継ぐことができるよう、食事の献立の中に郷土料理や伝統料理を取り入れるよう努めます。	郷土料理や伝統料理の実施	保育園において郷土料理や伝統料理を取り入れて提供。「献立だより」を通じて啓発	通年	12回(月1回)	通年	12回(月1回)	保育園、市(子育て支援課)
			「だしで味わう和食の日」	給食に使用されている鰹節やしいたけなどに実際に手で触れ、調理員から「だし」の取り方を聞き、汁物などを食べながら「だし」「和食」「郷土料理」などの会話を全員で楽しむ	11月	27園	11月	26園	保育園(子育て支援課)
			伝達講習会、地域食育講習会の開催【再掲:3-②】	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催【再掲:3-②】	通年	伝達講習 24回299人 地域食育講習 39回 1231人	通年	伝達講習 24回 地域食育講習 32回	射水市食生活改善推進協議会 市(保健センター)
			元気とやまわくわくクッキング【再掲:3-③】	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施【再掲:3-③】	11~12月	3回 82人	2回	「とやま健幸応援クッキング」に名称変更	富山県食生活改善連絡推進協議会 射水市食生活改善推進協議会
			「とやま食の匠」派遣制度の活用【再掲:5-①】	富山県が実施している「とやま食の匠」派遣制度等の周知及び活用【再掲:5-①】	通年	12個人、4団体	通年	12個人、4団体	市(農林水産課)
			生涯学習推進事業【再掲5-②】	多世代が交流する農業体験、親子料理教室、行事食やおやつ作りなどを実施(郷土料理、伝統的な食文化に関する活動)	通年	10回、437人	通年	15回、698人	地域振興会、市(生涯学習・スポーツ課)
②	射水ブランドによる新たな食文化の創造	地元の特産品等を使用した射水ならではの料理の開発など、新たな射水ブランドとしての開発を支援し、食文化の創造を推進します。	射水ブランド商品開発支援【再掲:7-③】	一次产品及び加工品の商品開発及び販路拡大の支援	通年	0件	通年	1件	市(観光まちづくり課)

9 食の循環や環境を意識した食育の推進

No.	取り組むべき施策	施策の内容	食育に関連する事業名等	事業の概要	令和6年度<実績> 実施時期・回数・人数等	令和7年度<予定> 実施時期・回数・人数等	R6R7特記事項	担当課・ 行動主体
①	食品ロスの低減	<p>食物への感謝の気持ちと環境への配慮から、家庭における食べ残しや作りすぎに留意します。</p> <p>また、商業施設においては、食品の加工残渣や売れ残りを有効に活用できるシステムの開発に努めます。</p> <p>食品の消費・賞味期限や正しい保存・取り扱い方法に対する理解の促進、「3010運動」の普及等による残さず食べる心掛けや無駄なく食材を使い切る意識の啓発などにより、食品ロス等を減らす食生活の実践を図ります。</p>	食品ロス削減	家庭から出る食品ロスを削減するため、市委託の可燃ごみ収集車両の車体に食品ロス削減啓発マグネットを貼り、市民へ啓発	通年 委託業者3社	通年 委託業者3社		市(環境課)
			食品ロス削減	夏休みの応募作品として市内の小中学生から「食品ロス削減」の作品募集	7~9月 ポスター応募総数 156件 壁新聞 1点	7~9月	(地球温暖化対策ポスターとして募集したので、食品ロス以外のポスターも含む)	市(環境課)
			食品ロス削減	食品ロス削減を啓発するため、射水市役所1階の食堂に三角立て札(2種類)を設置	通年 終期は特段設けない	通年 終期は特段設けない		市(環境課)
			食品ロス削減	家庭で持て余している食材を持ち寄り、おいしい料理に変身させる「サルベージパーティ」を実施し、親子で食品ロスに対する意識を高める	8月 8/3(土) 5組12名	未定 未定		市(環境課)
			フードドライブ ★	食品ロス削減の一環として、家庭で余っている食品の寄付を募り、食品を必要としている福祉団体や生活困窮者などへ提供	5月、10月 5月900品、125.8kg 10月878品、291.3kg	5月、9月 5月597品、87.1kg	市(環境課)、射水市社会福祉協議会	
			いみず環境チャレンジ10	市内全小学校4年生について、「環境チャレンジ10」を実施し、食品ロスについても取り組みを実施	通年 とやま環境チャレンジ10市内6校 いみず環境チャレンジ10市内9校	通年 とやま環境チャレンジ10市内12校 いみず環境チャレンジ10市内2校	市(環境課)、富山県	
元気とやまわくわくクッキング【再掲:3-③】	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施【再掲:3-③】	11~12月 3回 82人	2回 「とやま健幸応援クッキング」に名称変更	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会				
②	自然環境や食べ物を大切にする心の醸成	<p>生産者を学校等の給食へ招いたり、農山漁村における作業体験などを通じ、農林水産業者との交流を推進し、食や環境に対する理解を深めるよう努めます。(7-②再掲)</p>	稚魚放流事業【再掲:2-②】	漁業資源保全、養殖漁業や地域の食材への理解を深めてもらうため、園児・児童がアユやクロダイ等の稚魚放流を体験【再掲:2-②】	中止	未定		農林水産業関係団体 市(農林水産課)
			カニ学校給食の実施【再掲:7-②】	地元の特産品への理解を深めるため、ベニズワイガニを市内全小学校6年生の給食時に1杯まるごと提供し、豊かな食材への感謝とふるさとを大切に思う心を育む	10月から11月 各小学校	未定		市(学校教育課)
			チャレンジ農業体験【再掲:7-②】	市内の小学5,6年生を対象に、農作物の定植から収穫、調理(加工)の体験を通じて、農業を身近に感じてもらうとともに、射水市農産物への理解を深める	①6/1 ②8/23 ③11/16	①5/25 ②8/6 ③9/27	農林水産業関係団体 市(農林水産課)	
			射水市産「こまつな」親子による収穫体験【再掲:7-②】	射水市でこまつなが生産されていることを広く知っていただくとともに、生育スピードが早くなる夏場などに、収穫が間に合わず規格外まで成長してしまい、破棄されてしまうこまつなを有効活用する取組など、親子で学ぶ	6/23 親子12組37名	45802 親子10組30名	農林水産業関係団体 市(農林水産課)	